

泉の里地・里山・里水自然観察会報告

日時： 2015年8月16日

場所： 泉ビオトープのふるさと ～ 谷戸城

天気： 晴れ 気温24度 水温21度

盆が過ぎると八ヶ岳南麓に吹く朝晩の風は、秋の気配となります。それでも日中の日差しはまだまだ強いのですが、植物や昆虫たちをじっくり観察すると夏と秋の境を感じることができます。田んぼにはまだ水がは張られています、イネには穂が付き実りの秋を向かえようとしています。水の中には、トノサマカエルやゲンゴロウの幼虫たち、そして雑草たち。そろそろアキアカネも戻ってくるでしょう。



水量が多く流れるようになったので、水路らしくなりました



カナムグラなども入り込んでいますが、ヤマハッカ、ウツボクサ



キキョウの実



ナデシコの実



エゴノキの実

夏草の王者なるべきイタドリの 白き小花は風と遊べり



今日はこんなアマガエルをたくさん観ました。アキノノゲシには3匹、分かりますか



アキノノゲシを食草とするホソバセダカモクメの幼虫



ミヤマアカネ♂
オスは体も縁紋も赤くなる、



ミヤマアカネ♀



ミドリシジミ



コブシの実

緑濃き葉の群がれる道行けり 夏着をこなし夏風受けて



ヤマガラシ



イネの穂



コブシの実



木食い虫の食痕模様



その木に蟬の抜け殻



キツネノカミソリの実



キツネノカミソリ



川を眺めているカエル



衣川



ミヤコグサ



城南の田んぼ



ヒルガオ



コバギボウシ



アギナシ



雲に隠れた八ヶ岳

青空の透けて見えるやねムの花